

○三沢海岸再生記念植樹を開催

5月25日（金）、三沢市浜通り国有林155林班において、上北地域県民局地域農林水産部及び上北地方林業振興協議会の後援を得て三沢市、地域住民、市民ボランティアなど約120名が参加し、クロマツポット苗木500本を植樹しました。

この植樹は、東日本大震災の影響により三沢海岸の防風林も甚大な被害を受け、1日も早い防風林の再生を目指し、地域の皆様が安心・安全な生活を取り戻すことを目的に開催しました。

開会に先立ち、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を祈り黙禱を捧げ、開会式では、主催者として署長より「防風林を育てた先人の努力を思い復旧にあたりたい。」と挨拶し、続いて三沢市長の代理として中野渡経済部長より来賓祝辞を上北地域県民局地域農林水産部三浦部長より後援挨拶をいただきました。

植樹開始前には、当署奥瀬森林官と八溪山森林官が植樹指導及び注意事項を説明し、その後、参加者全員でクロマツポット苗木の植え付けを開始しました。

三沢海岸の町内会からも多くの方が参加され、その中には四目地区で育ち現在は大津地区に移転された方の姿もあり、かつての松林の姿を思い出しながら、「大きく育ち、また私たちを守って」と1本1本丁寧に植えていました。式典の最後には、中野渡経済部長、上北地域県民局地域農林水産部三浦部長、上北地方林業振興協議会太田会長、田中建設工業株式会社田中社長、佐藤署長の5名で記念標柱の埋設を行い植樹祭を終了しました。

当日は、海風が心地よく吹く天候の中で植樹が行われ、夕方には恵みの雨も降り出し思い出に残る1日を過ごしました。



参加者全員で黙禱



佐藤署長挨拶



植樹の様子



記念標柱建立